

SHIRAKOBATO

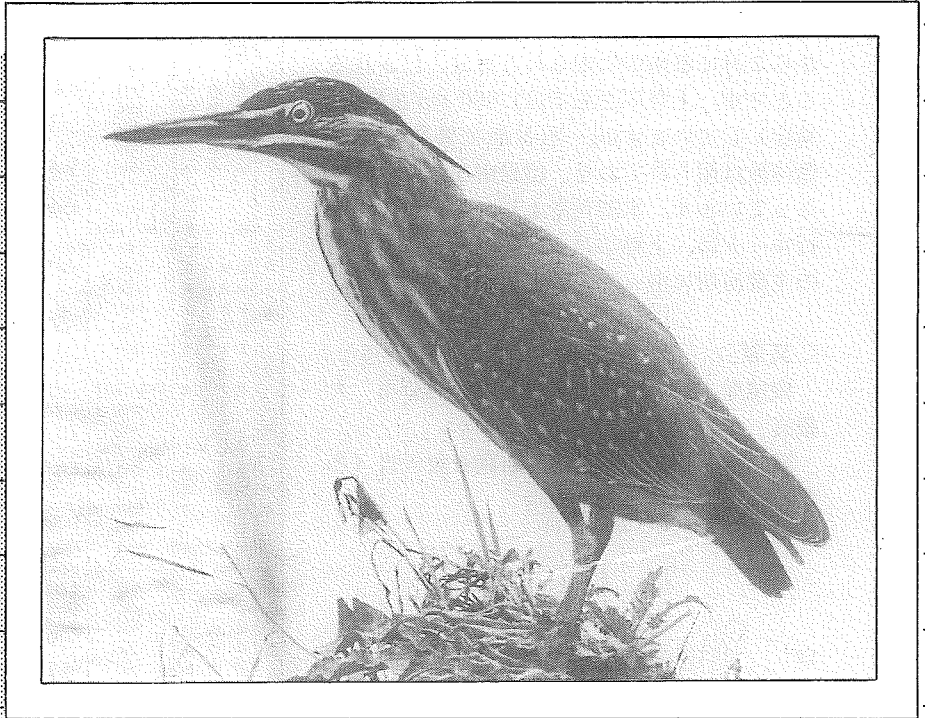
# しらこぼと



1989. 6

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 61

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 埼玉におけるカワウの動態

## — 1989年冬鳥分布調査 —

日本野鳥の会 埼玉県支部研究部

表4 埼玉における過去50年間のカワウの生息

12月、1月、2月と移動性高気圧が天気を定め、1988年冬にも増して異例の暖冬となり、東京におけるサクラの開花が3月20日と10日から2週間も早まりました。

1989年冬の県内野鳥分布調査は会員諸氏(表1)の御協力により実施され、地域別(表2)の種別生息状況(表3)が得られました。

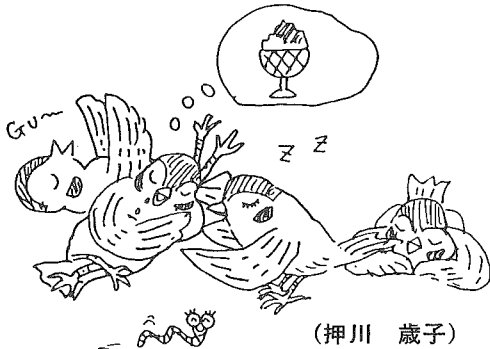
千葉市蘇我大蔵寺と越谷市大林埼玉鴨場で繁殖していたカワウは、現在、関東では上野不忍池が唯一の繁殖地です。1985年に行なわれた調査(環境庁1988)によると、冬カワウが目撃される地域は東京都区部、川崎市、埼玉の県南東及び県南中となっています。1985年に開始した県内野鳥分布調査の結果(表4)を見ると、当初、県南東、県南中に限られていた目撃記録が、年とともに県南西、県央・東、県北に拡大されています。しかし、5月から7月に県南中に限られる事は注目されることです。上野不忍池では1,000羽が生息(環境庁)していますが、不忍池で繁殖可能な個体数は限られており、超過密なコロニーになっています。本調査により、冬の県内の飛行ルートは、上野不忍池を起点として、県内の主要河川に沿っていると思われる(図)。

(執筆 小荷田行男)

### <文献>

環境庁 1981 日本産鳥類の繁殖分布 大蔵省 東京

環境庁 1988 動植物分布調査報告書(鳥類) 日本野鳥の会 東京



地域	調査地	調査年	冬鳥	夏鳥	文 献
県南	草加	1938~1942	—	—	(野口1942、1943)
		1978	未調査	—	(環境庁1981)
	越谷	1979~1980	—	—	(日本野鳥の会1982)
	越谷	1986	○	○	(埼玉県野鳥の会1987)
	越谷	1982~1986	○	○	(越谷の自然を調べる会1988)
		1985	○	未調査	(環境庁1988)
県東	県南東	1985	未調査	—	
	県南東	1986	○	—	
	県南東	1987	○	—	
	県南東	1988	○	—	
	県南東	1989	○	—	
県南中	見沼	1972~1983	—	—	(大島1983)
	秋ヶ瀬	1973~1984	○	—	(松田1984)
	秋ヶ瀬	1974~1982	○	—	(埼玉大野鳥研1984)
		1978	未調査	—	(環境庁1981)
		1985	○	未調査	(環境庁1988)
	県南中	1985	未調査	○	
	県南中	1986	○	○	
	県南中	1987	○	○	
	県南中	1988	○	○	
	県南中	1989	○	○	
県南西	狭山丘陵	1965~1979	○	○	(荻野1980)
		1978	未調査	—	(環境庁1981)
	所沢、入間、狭山	1982	—	—	(人間野鳥の会1983)
		1985	—	未調査	(環境庁1988)
	県南西	1985	未調査	—	
	県南西	1986	—	—	
	県南西	1987	—	—	
	県南西	1989	○	—	
県央・東	庄和	1978	未調査	—	(環境庁1981)
		1983~1984	—	未調査	(吉岡1984)
		1985	—	—	(環境庁1988)
	県央・東	1985	未調査	—	
	県央・東	1986	—	○	
	県央・東	1987	—	—	
県北	県北	1988	○	—	
	県北	1989	○	—	
	県北	1968~1977	—	—	(堀江他1978)
		1978	未調査	—	(環境庁1981)
		1985	—	未調査	(環境庁1988)
	熊谷、川本	1985~1986	—	—	(今井1986)
	県北	1985	未調査	—	
県北	1986	—	—		
県北	1987	—	—		
県北	1988	—	○		
県北	1989	○	—		
県西南	県西南	1978	未調査	—	(環境庁1981)
		1985	—	未調査	(環境庁1988)
	県西南	1985	未調査	未調査	
	県西南	1986	—	—	
	県西南	1987	—	—	
	県西南	1988	—	—	
県西北	県西北	1989	—	—	
	県西北	1978	未調査	—	(環境庁1981)
		1985	—	未調査	(環境庁1988)
	県西北	1985	未調査	—	
	県西北	1986	—	—	
県西北	1987	—	—		
県西北	1988	—	—		
県西北	1987	—	—		

図 1989年冬におけるカワウの飛行ルート

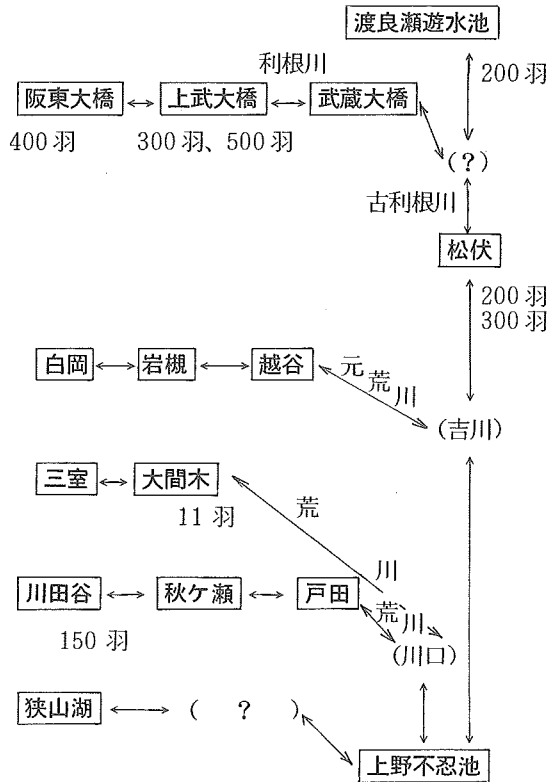


表1 調査概要

調査期間	1988年12月1日～ 1989年1月31日
調査者	会員 56名
調査はがき 内訳	31枚
調査票	122枚
調査メッシュ	170メッシュ

表2 埼玉県の地域区分

地域	地形区分	おもな都市名	備考
県南東	低地	草加、越谷	
県南中	台地、低地	川口、浦和、 大宮、上尾	
県南西	台地、低地	所沢、川越	
県央・東	低地	鴻巣、久喜 加須、栗橋	
県北	台地、低地	熊谷、深谷、 本庄	
県西南	丘陵	飯能、越生	1986年冬より調査開始
県西北	丘陵	皆野、寄居	
秩父	山地	秩父山地	

表3 県内の地域別種別生息状況

種名	地域									
	86年冬	87年冬	88年冬	県南東	県南中	県南西	県央・東	県北	県西南	県西北
カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○
ハジロカイツブリ	○		○							
ミミカイツブリ			○							
アカエリカイツブリ			○							
カンムリカイツブリ	○	○	○		○	○	○	○		
カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○		
ゴイサギ				○	○	○	○	○		
ダイサギ				○	○	○	○	○		
チュウサギ				○						
コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○		○
アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コウノトリ			○							
クロツラヘラサギ			○							
マガン		○								
コブハクチョウ	○	○	○							
コハクチョウ	○	○	○					○		
オンドリ	○	○	○	○				○		
マガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トモエガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヨシガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オカヨシガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アメリカヒドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オナガガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンビロガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アカハシハジロ					○					
ホシハジロ					○					
オオホシハジロ	○		○							
アカハジロ					○					
キンクロハジロ	○	○	○		○	○	○	○		
スズガモ	○	○	○		○					
ホオジロガモ	○	○	○			○				
ミコアイサ	○	○	○			○				
カワアイサ	○	○	○			○				
トビ	○	○	○			○				○
オジロワシ		○								
オオタカ	○	○	○		○	○		○		○
ツミ			○					○		
ハイタカ								○		
ケアシノスリ	○									
ノスリ					○	○	○	○	○	
ハイイロチュウヒ								○		
チュウヒ								○		
ハヤブサ					○					
コチョウゲンボウ	○	○	○					○		
チョウゲンボウ	○	○	○					○		
ウズラ	○	○	○					○		
コリンウズラ	○	○	○					○		
コジュケイ	○	○	○					○		

地域 種名	86年冬	87年冬	88年冬	県南東	県南中	県南西	県央・東	県北	県西南	県西北
ヤマドリ										○
キジ	○	○	○		○	○	○	○	○	○
クイナ	○	○	○		○					
シロハラクイナ			○							
バン	○	○			○				○	
タマシギ	○	○								
コチドリ	○	○	○			○		○		
イカルチドリ	○	○	○		○	○	○	○		○
シロチドリ	○	○	○		○			○		
ムナグロ	○	○	○							
ケリ	○	○	○							
タゲリ	○	○	○	○	○		○	○		
ハマシギ	○	○	○		○	○	○	○		
オオハシシギ	○	○	○							
クサシギ	○	○	○		○			○		○
タカブシギ	○	○	○							
イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○		○
ヤマシギ	○	○	○							
タンシギ	○	○	○	○	○	○	○	○		
ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○		
セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○		
カモメ	○	○	○							
ウミネコ	○	○	○		○			○		
シラコバト	○	○	○	○	○	○	○	○		
キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオバト	○	○	○							
トラフズク	○	○	○							
コミミズク	○	○	○		○		○	○		
オオコノハズク		○								
フクロウ		○							○	
ヒメアマツバメ							○			
ヤマセミ	○	○	○							○
カワセミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤツガシラ	○	○	○		○					
アリスイ	○	○	○							
アオゲラ	○	○	○		○	○	○	○	○	
アカゲラ	○	○	○		○	○	○	○	○	
コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒバリ	○	○	○				○	○	○	○
ハマヒバリ			○							
イワミセキレイ	○					○				
キセキレイ	○	○	○		○	○		○	○	○
ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ピンズイ	○	○	○		○	○	○	○		
ムネアカタヒバリ			○							
タヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオモズ	○	○	○							
キレンジャク	○	○	○							

地域 種名	86年冬	87年冬	88年冬	県南東	県南中	県南西	県央・東	県北	県西南	県西北
ミソサザイ	○	○	○							
カヤクグリ	○	○	○							
ルリビタキ	○	○	○			○		○	○	○
ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロジョウビタキ	○	○	○							
イソヒヨドリ	○	○	○							
トラツグミ	○	○	○		○					
アカハラ	○	○	○		○	○		○		
シロハラ	○	○	○		○	○		○		○
ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオセッカ	○	○	○							
キクイタダキ	○	○	○		○	○		○		
セッカ	○	○	○		○		○	○		
エナガ	○	○	○			○			○	○
コガラ	○	○	○							
ヒガラ	○	○	○		○	○				
ヤマガラ	○	○	○		○	○				
シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴジュウカラ	○	○	○				○			
メジロ	○	○	○				○	○	○	○
ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コジュリン	○	○	○		○			○		
ホオアカ	○	○	○		○					
カシラダカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミヤマホオジロ	○	○	○					○	○	○
アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロジ	○	○	○							
オオジュリン	○	○	○		○		○	○	○	○
アトリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マヒワ	○	○	○			○				
ハギマシコ	○	○	○							
イスカ	○	○	○							
ベニマシコ	○	○	○				○	○		
ウソ	○	○	○			○				
コイカル	○	○	○							
イカル	○	○	○					○	○	○
シメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コムクドリ			○							
ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カケス	○	○	○		○	○	○	○	○	○
オナガ	○	○	○							
ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドバト	○	○	○					○		○
セキセイインコ	○	○	○				○			
ワカゲホンセイインコ			○	○						
ベニスズメ			○							
ヘキチョウ									○	



## 三宅島の鳥たちから

代表・アカコッコ

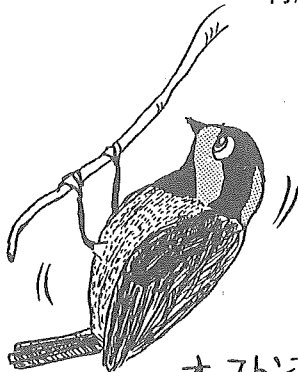
日本野鳥の会埼玉県支部の皆様、ようこそ私達をお訪ね下さりありがとうございました。

朝まだ暗き阿古港に歓迎コールに出向き、また翌日雨風の中皆様の帰路を見送ったイソヒヨ君は、交歓の喜びを感激を込めて語ってくれました。私も大路池のバス停でお待ち、ヤマガラ先生の指揮、ウグイスママコーラスをバックに出演させて頂きまして、皆様の慈しみの心溢れた熱い眼差のカーテンコールにキョロキョロとあがってしまいました。

椎の原生林が影を落とす火口湖周辺は私達のパラダイスです。美声を湖面に響かせたおコマちゃん、音無の構と円月飛翔のサンバ剣士、五位の舞を湖に写したサギの巫、シルエット登場のカラスバト君、別れを惜んで泣いたムシクイのイイジマ君、そして闇で聞取りさせたアオバズク法師、その他大勢の仲間も心洗われる感激のメッセージを頂いた皆様への友好出演でした。宿の御主人は「島の海山の幸」によるこび、島酒で乾杯し抱いて帰ってくれた事に「よかった、よかった」、可愛い坊やも「アンパンマンのお兄ちゃんまた来るよネ……」と話していたのを又三郎が伝えてくれました。

企画した北川さん、リーダーの皆様、お手数ですが、また来年、来た人まだ来ない人を問わずつれて来て下さい。心まち致しております。

内藤義雄（鴻巣市）  
（黒田佳子）



オーストンヤマガラ



（ハイロチュウヒ ♂ 撮影・市川計彦）

## やまがらダヨ !!

高木礼子（浦和市）

2月12日、大宮公園の池のそばにある低い木で2羽。「ビービー」と変った鳴き声に「もしや?!!」と思って近づいてみると、それは私がはじめて見るめったに見られない鳥（ですよネ!）ヤマガラだったのです。1m位離れて見ている私を恐れる様子もなく、一生懸命、何かの実をつっついていました。あまりにも感激したので、ハガキを出してみました。（**どんどん オネガイ!!** 編集部）

ちなみに私は、バードウォッチャーになって1年目にしては、けっこうめずらしい鳥にめぐりあっている（と自分では思っている）ナース高木です。

## 南浦和にも花喰い雀出現

金子桂子（浦和市）

南浦和駅近くの御嶽公園の桜が二、三分咲きになりかけていた3月27日のこと。「今年は桜が早いなあ」と思いつつそこを通り過ぎようとした時、桜の花がいくつも地面に落ちているのに気がきました。変だと思い見上げると、雀が2、3羽嬉々として花を喰い落としているのです。落ちていた花は、どれも花の蜜がたまる部分で斜めに喰い切られていました。この現象、去年はTV（最近、東京のトリが桜の花を喰う＝正確に言うと蜜を食べることを覚えたという内容）で見ましたが、どのようにして浦和の雀にまで伝わってきたのでしょうか？

鳥達のコミュニケーションの方法、知りたいと思いませんか？

# 水鳥野鳥情報

アメリカヒドリ ◇4月2日午後1時、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽(林 滋)。

サシバ ◇4月9日午前9時~11時、飯能市の天覧山上空で7羽南から北へ渡る(海老原美夫)。◇4月9日、毛呂山町の物見山上空を7羽通過する(市川計彦)。◇4月26日午前7時10分、本庄市の阪東大橋下流上空で3羽。午前7時25分、7羽。南から本流上空を通過し北北東(男体山方面)へ渡っていった(町田好一郎)。◇4月28日、入間市宮寺の狭山丘陵で1羽(渡辺 敦)。◇4月29日、浦和市秋ヶ瀬A区で1羽(杉本秀樹他3名)。

チョウゲンボウ ◇3月21、22日、狭山市下奥富で♂1羽(宮寺 充)。◇4月2日、浦和市秋ヶ瀬A区で♂1羽(吉田 博、二三子)。

チゴハヤブサ ◇4月9日午前10時、飯能市の天覧山上空で1羽。南から北へ渡る(海老原美夫)。

コチョウゲンボウ ◇3月12日、吉見町南吉見の農耕地で♀1羽。同時にチョウゲンボウも現われ、しばしば争っていた(市川計彦)。

キジ ◇3月23日、浦和市大谷口の遊水池の近くで「ケン、ケン、ドドド…」(矢作亮太郎)。◇4月8日、狭山市富士見の雑木林で♂♀各1羽(福田強志)。

バン ◇4月10日、戸田市道満のつり堀で2羽(高橋達也)。

コチドリ ◇4月10日、戸田市道満で13羽



(高橋達也)。◇4月30日、熊谷市大麻生で1羽(諏訪隆久)。

シロチドリ ◇4月10日、戸田市道満で2羽(高橋達也)。

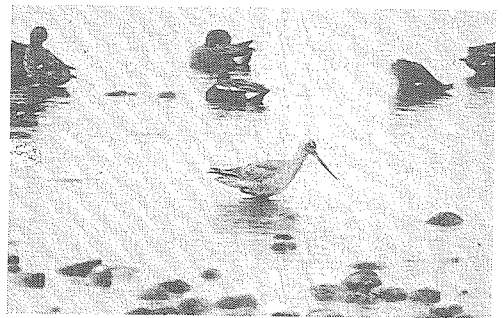
ムナグロ ◇4月8日、浦和市大間木の見沼田圃で8羽(うち夏羽2羽)(為貞貞人)。◇4月10日、戸田市道満で1羽(高橋達也)。◇4月30日、熊谷市大麻生で1羽(諏訪隆久)。

ダイゼン ◇4月30日、熊谷市大麻生で1羽(諏訪隆久)。

オジロトウネン ◇3月6日、本庄市の阪東大橋下流の本流から外れた泥っばい場所で2羽(市川計彦)。

ハマシギ ◇4月10日、戸田市道満で53羽(高橋達也)。◇4月30日、熊谷市大麻生で1羽(諏訪隆久)。

オオソリハシシギ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(市川計彦)。



(撮影・市川計彦)

エリマキシギ ◇4月10日、戸田市道満で1羽(高橋達也)。

クサシギ ◇4月10日、戸田市道満で1羽(高橋達也)。

キアシシギ ◇4月30日、熊谷市大麻生で1羽(諏訪隆久)。

コアジサシ ◇4月2日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(林 滋)。

ホトトギス ◇5月1日、川本町本田で1羽(小淵健治)。

カッコウ ◇4月17日、浦和市本太の自宅付近で鳴く(藤野富代)。

アオバト ◇4月1日午前9時20分、坂戸市城山の高麗川べり、JR八高線沿いの斜面の樹上に1羽(増尾 隆、節子)。

コミミズク ◇4月2日、浦和市秋ヶ瀬A区  
の土手で1羽(吉田 博、二三子)。

ヒメアマツバメ ◇4月9日、飯能市の天覧  
山上空で多数(海老原美夫)。

アマツバメ ◇4月9日、飯能市の天覧山上  
空で多数(海老原美夫)。

ヤマセミ ◇3月29日、日高町巾着田の高麗  
川、ドレミファ橋上流で1羽(矢作亮太郎)。

カワセミ ◇4月10日、戸田市道満のつり堀  
で2羽(高橋達也)。

ツバメ ◇3月15日午後4時頃、鴻巣市大間  
1丁目で1羽(榎本秀和、みち子)。◇4  
月2日、富士見市渡戸1丁目で5羽(町田  
三郎)。

イワツバメ ◇3月30日、戸田市の戸田橋付  
近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。

ハクセキレイ(ねぐら) ◇4月6日、浦和  
市桜田の新大宮バイパス沿いのトヨタ自動  
車工場隣の電柱で約20羽がねぐらをとっ  
ていた(福井 亘)。

サンショウクイ ◇4月30日、坂戸市多和目  
で1羽(海老原美夫)。

モズ ◇3月18日、狭山市上赤坂でカワラヒ  
ワの鳴きまねをする(宮寺 充)。

キレンジャク ◇3月25日、秩父市の羊山公  
園で1羽(岡安征也)。

ヒレンジャク ◇4月9日、熊谷市大麻生の  
河原の低木に2羽(探鳥会居残り組)。

ルリビタキ ◇3月18日、狭山市上赤坂で♀  
1羽(宮寺 充)。

トラツグミ ◇3月25日、浦和市秋ヶ瀬の子  
供の森で1羽(松山啓明、宮寺 充)。

ウグイス ◇2月10日昼頃、入間市春日町の  
自宅庭に来る。鳴いてくれませんでした  
(原口郁子)。◇3月3日午前8時頃さえずる。  
まだごちない(榎本秀和、みち子)。

オオヨシキリ ◇4月30日、熊谷市大麻生で  
1羽(諏訪隆久)。

センダイムシクイ ◇4月17日、大宮市日進  
町で鳴き声(森本國夫)。◇5月1日、浦  
和市の白幡沼で1羽(海老原美夫)。

キビタキ ◇5月1日、川本町本田で♂1羽  
(小淵健治)。

オオルリ ◇4月30日、熊谷市大麻生で♀1  
羽(諏訪隆久)。

ヤマガラ ◇4月9日、大滝村の自宅庭の巢  
箱に営巢中(原田秀雄)。



(撮影 原田秀雄)

シジュウカラ ◇3月12日、所沢市くすのき  
台の自宅庭でくちばしの白い個体1羽(宮  
寺 充)。

ミヤマホオジロ ◇3月18日、狭山市上赤坂  
で♀1羽(宮寺 充)。◇3月29日、越谷  
市下間久里の自宅庭で♂1羽(神場真文)。

アトリ ◇4月16日、深谷市上野台の八幡神  
社で夏羽、冬羽入りまじった30羽程が落ち  
葉をさがそやっていた(高橋夕香子)。

カワラヒワ ◇4月21日、鷲宮町上内でヒナ  
5~6羽巣立ち間際(中山美智子)。

ニューナイスズメ ◇4月9日、熊谷市大麻  
生野鳥の森で15羽(探鳥会居残り組)。  
◇4月15日、深谷市の熊野神社で♂1羽♀  
2羽(高橋夕香子)。

表紙の写真

バードフォトコンテスト入選作

ササゴイ(サギ科)

昨年の夏休みも終りに近いひどく暑い日だ  
った。今日の暑さはなんなんだ。あと1ヶ月  
でいいから夏休みをのばしてくれないかなん  
て考えながらカワセミを待っていたら、横  
のやぶから、そろりそろりと細長いのが出て

きて、くいのうえにのった。それがこの灰色  
っぽいササゴイだ。これはラッキーと思いな  
がらシャッターをパシャパシャ押した。

今年は何に会えるだろうか。

(写真と文・佐藤晶人=与野市:中学生)

# 行事あんない



## 日本野鳥の会バードソン'89

期日：6月4日(日)

チームメンバー：横山みどりキャプテン・黒田佳子・金子真理・高橋夕香子(総合リーダー：諏訪隆久)

(詳しくは先月号4ページをご覧ください。埼玉県支部の公式エントリーチーム「アズ熊谷埼玉のスイートポテトたち」へのご支援、ならびに「野鳥を科学する基金」へのご寄付をよろしくお願い申し上げます。)

## 栃木県・奥日光探鳥会(要予約)

期日：6月10日(土)～11日(日)

(申込方法は先月号5ページをご覧ください。なお、既に申し込まれた方には、集合時間・場所などについての案内状を発送いたしました。)

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月11日(日)

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷9:00発→大麻生9:10

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。

探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。参加費は、一般=100円、会員及び中学生以下=50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発!

着 / 秩父鉄道寄居8:52発→大麻生9:10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、鈴木忠雄、林滋、岡安征也、町田好一郎

見どころ：緑萌えたつ大麻生。梅雨晴の空にこだますカッコウの声を聞けば、もう気分は最高。みんなで探したら姿も見られるかも。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：6月18日(日)

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前(北浦和駅の場合、その後バス利用)

解散：午後1時ごろ

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田実、手塚正義

見どころ：三室の里に夏の色。みずみずしい緑にあふれて、見沼田圃や芝川は初夏のいぶきでいっぱいです。カルガモ親子のほほえましい姿も、今では三室探鳥会の風物詩になりました。



(榎本みち子)



## 平成元年度(第5回)埼玉県支部総会

期日：6月25日(日)

(詳しくは12ページをご覧ください。)

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：7月1日(土) 午後1時～3時ごろ

会場：支部事務局(浦和駅西口を出て左側、三菱信託銀行と日建ハウスの間)入って進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、茶色5階建マンションの1階=徒歩約5分=住所は12ページ下欄のとおり)

案内：第三種郵便物が認可されてから、ずいぶん簡単になったのが袋づめ。その分弾むのがおしゃべりで、探鳥会では味わえない楽しさがあるんです。

## 野鳥写真クラブ定例会

とき：7月1日(土) 午後3時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：『しらこぼと』袋づめに参加してくれた、あなたのための写真クラブ。写真クラブたって、スライド見るだけ映すだけ。あなたもクラブのメンバーです。



(榎本みち子)



(榎本みち子)

## 三芳町・多福寺探鳥会

期日：7月2日(日)

集合：午前8時45分 東武鉄道三芳駅北口  
または午前9時30分 多福寺駐車場  
(上三芳駅の場合、その後バス利用)

交通：川越線大宮8:13発→川越8:33着、  
東武東上線乗り換え8:37発→上三芳  
8:42着 / 武蔵野線南浦和8:10発  
→北朝霞8:20着、東武東上線乗り換  
え、朝霞台8:29発→上三芳8:42着

解散：午後1時ごろ

担当：福井恒人、藤原寛治、黒田佳子

見どころ：武蔵野の面影残す雑木林。街の雑踏をしばし離れて、林の小径を散策しましょう。爽やかな風が木々の葉を揺らすとき、小鳥の親子連れがそっと姿をのぞかせます。



元祖SDキビタキ (榎本秀和)

7月8日(土) 坂戸市・高麗川探鳥会

7月8日(土)～9日(日)

静岡県・富士山五合目探鳥会(要予約)

(詳しくは先月号をご覧ください。)

7月9日(日) 熊谷市・大麻生探鳥会

7月16日(日) 浦和市・三室地区探鳥会

# 行事報告

## 3月5日(日)長野県 軽井沢

人 38人 天気 雪 鳥 トビ キジバト  
 カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ セ  
 グロセキレイ ヒレンジャク カワガラス  
 ミソサザイ ジョウビタキ ツグミ エナガ  
 コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ  
 ゴジュウカラ ホオジロ アトリ ハギマシ  
 コ ウソ イカル シメ スズメ カケス  
 ハシブトガラス (27種) みぞれと小雪という  
 悪条件の中での探鳥会。レンジャクもほんの  
 チラリ。でも、ハギマシコの群舞は皆でしっ  
 かりと見た。いろいろハプニングが多い一日。

## 3月19日(日)浦和市 三室地区

人 60人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ  
 カルガモ コガモ オナガガモ オオタカ  
 キジ コチドリ タゲリ クサンギ イソシ  
 ギ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ  
 ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロ  
 セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ  
 ウビタキ ツグミ ノハラツグミ シジュウ  
 カラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオ  
 ジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボ  
 ソガラス ハシブトガラス (35種) 珍客ノハ  
 ラツグミを目指してコースを変更。野田小学  
 校付近に向けて見沼田圃を横断した。あまり  
 に人数が多くて驚かせたのか、ノハラツグミ  
 はちらっと姿を見せてくれただけで残念だっ  
 た。でも、鳥も結構出たし、新しいコースで  
 新鮮な気分を味わい、鷲神社で解散した。

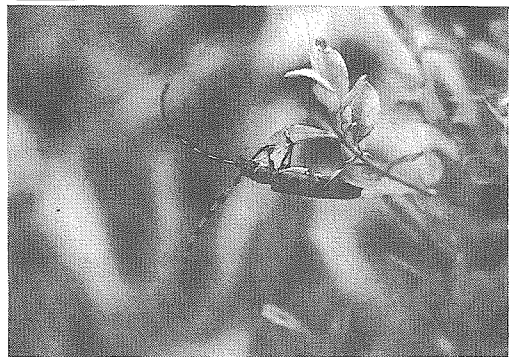
## 4月1日(土)『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 石井智、石川敏男、岩  
 波勇一、海老原教子、榎本秀和、遠藤薫、神  
 場真文、草間和子、小荷田行男、佐藤方博、  
 下川礼子、高橋夕香子、乗田実、林滋、福井  
 亘、藤野富代、簗輪眞澄、遊佐京子、吉田二

三子、渡辺敦、渡辺孝章 (21人) 事務局長は  
 関東ブロック協議会にでかけて留守だとさ。  
 あんなの居なくてもいいさ。と言ったかどう  
 かはわからないが、盛り上がっちゃって、わ  
 んさかわんさかだったとか。

## 4月1日(土)写真クラブ定例会

集まった人 22人 作品発表した人 8人



ルリホシカミキリ (石井智・与野市)

## 4月2日(日)神奈川県 城ヶ島

人 約80人 (埼玉県支部6人) 天気 晴  
 鳥 オオミズナギドリ ウミウ ヒメウ ク  
 ロサギ トビ イソシギ セグロカモメ オ  
 オセグロカモメ ワシカモメ ウミネコ ミ  
 ツユビカモメ キジバト ツバメ ハクセキ  
 レイ タヒバリ ヒヨドリ イソヒヨドリ  
 ツグミ ウグイス メジロ ホオジロ アオ  
 ジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボ  
 ソガラス ハシブトガラス (27種) 関東地区  
 支部の合同探鳥会。関東ブロック協議会に出  
 席した代表者たちも合流してにぎやかに開催。  
 あまりにも天気が良いすぎて、日差しが海面に  
 まぶしい中で、ウミウやヒメウは崖の指定席  
 で抱卵したり、イソヒヨドリは崖際の上昇気  
 流に乗りながら良い声でさえぎっていた。幹  
 事役の神奈川支部さん、ご苦労様でした。

#### 4月2日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 83人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ  
カルガモ コジュケイ コチドリ ムナグロ  
イソシギ ヤマシギ タシギ ユリカモメ  
キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセ  
キレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨド  
リ モズ ツグミ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリ  
ン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ  
ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 大  
勢の参加者のお目当ては、もちろんレンジャ  
ク。残念ながら、ほんの1週間前までワンサ  
カ居たというのに、もう見られなかった。春  
が早かったのがわざわざいらしい。

#### 4月9日(日) 熊谷市 大麻生

人 47人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサ  
ギ ダイサギ マガモ カルガモ コガモ  
コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ  
イソシギ コアジサシ キジバト ヒバリ  
ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロ  
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグ  
ミ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジ  
ロ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ  
ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 春  
のお日様ピカピカの良い天気。お目当てのシ  
ギ・チはあまり居なかったけど、コアジサシ  
の華麗な飛翔をみんなで楽しんだ。そして何  
よりも、菜の花の咲き乱れる河原のすばらし  
かったこと…。大麻生は春爛漫。なお、秩父  
鉄道利用の参加者には、ダイヤが改正されて  
いたことでご迷惑をおかけしました。

#### 4月16日(日) 浦和市 三室地区

人 15人 天気 大雨後曇 鳥 カワウ コ  
サギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ  
コジュケイ タシギ キジバト ヒバリ ツ  
バメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ ヒヨドリ モズ ツグミ セッカ  
シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒ  
ワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハ  
シブトガラス (25種) あいにくの大雨で最初  
の1時間はスライドで観察。雨があがってか  
らコースを短縮して外を歩いた。スライドの

鳥も、雨上がりの鳥も、どちらも結構。

#### 4月21~23日(金~日) 東京都 三宅島

人 12人 天気 22日晴、23日雨 鳥 コア  
ホウドリ オオミズナギドリ アカアシミズ  
ナギドリ ハイイロミズナギドリ ハシボソ  
ミズナギドリ オーストンウミツバメ ウミ  
ウ ヒメウ ゴイサギ トビ ノスリ サシ  
バ コジュケイ キジ バン ムナグロ イ  
ソシギ ヒレアシシギSP オオトウゾクカ  
モメ トウゾクカモメ セグロカモメ ウミ  
ネコ カンムリウミスズメ カラスバト キ  
ジバト アオバズク アマツバメ コゲラ  
ツバメ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コマ  
ドリ ノビタキ イソヒヨドリ アカコッコ  
ウグイス イイジマムシクイ ヤマガラ シ  
ジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カ  
ワラヒワ スズメ ハシブトガラス (46種)  
今年もやってきましたバードアイランド三宅  
島。早朝、眠い目を覚ましてくれたのは、さ  
えずりのシャワー。イイジマムシクイ、ミソ  
サザイ、コマドリ。ピョコピョコ出てきたの  
はアカコッコ。ウーウーとカラスバトの声が  
大浴池に響き渡る。疲れた私たちを待って  
いたのは、冷たいビールと、トビウオやキンメ  
ダイの新鮮な刺身の舟造り、三宅島の基地問  
題のビデオを見ながら、民宿のおじさんの話  
を聞き、改めて三宅島の自然を壊し、島民の  
意志を踏みにじる飛行場など要らない、とい  
う思いを強くした。

#### 4月29日(休) シギ・チドリ類一斉調査

がんばってくれた人 石井智、榎本秀和、榎  
本みち子、海老原教子、海老原美夫、北川慎  
一、草間和子、桜井九郎、佐藤方博、佐藤晶  
人、杉本秀樹、高橋夕香子、竹内設雄、角田  
真喜子、内藤義雄、中島康夫、中島郁夫、野  
中康治、林滋、福井恒人、福井巨、町田好一  
郎、松井昭吾、宮城亨、森根健治、森本國夫、  
横山みどり、吉田二三子、渡辺嘉男 (29人)  
前日は強風で心配したが、絶好の調査日和と  
なった。参加者の皆さんご苦労様でした。

なお、結果の概要は後日『しらこぼと』で  
報告される予定です。

## 連絡帳

### 総会のお知らせ

場所：埼玉会館（浦和市高砂3-1-4・浦和駅西口から県庁通り西進徒歩約5分右側）7階7A集會室

日時：平成元年6月25日（日）

午後1時 受付開始

1時30分～2時30分 支部5周年の足跡

2時30分～4時 総会

議題：昭和63年度事業報告及び決算について、支部会費額の変更について、平成元年度事業計画及び予算について、役員を選出について。

支部5周年の足跡を記録したスライドお持ちの方は事務局までお寄せください。

今回は会費の変更について検討しなければなりません。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

### ただいま夏鳥調査期間中

5月10日から7月10日までは夏鳥分布調査期間です。あなたのフィールドで観察された鳥の名前とおおよその数をメモしておいてください。（フィールドは1km平方くらいをひとつの単位としてください）

7月号に料金受取人払いのはがきを同封しますので、結果をまとめて記入してお送りください。ご協力をお願いします。

### バードソンご寄付をお申し込みください

6月4日のバードソンがもう目前。今月号に同封したはがきでご寄付の申込みをお願いします。もっと早くお願いしなければならなかったのに、さしせまってしまってすみません。切手を貼って、6月3日の締切り前にいそいで投函していただだけませんか。（既にほかの用紙で申込み済みの方は必要ありません）。

### ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。

伊藤昭吾 2,000円、浦和のノハラツグミ 4,000円、小川寿一 1,500円、神山和一郎 4,000円、川口由美子 2,000円、坂井和子 1,000円、さぎ山公園探鳥会 5,501円、田中隆 5,000円、畠山愿 5,000円、逸見嶮 300円、三宅島探鳥会 1,300円、渡良瀬探鳥会 3,000円。（50音順、敬称略）

### 訂正とお詫び

前月号のこのページ、1,000人目の会員のお名前は「町口」さんではなくて、「田口浩司」さんです。ごめんなさい。

### 会員数は

5月20日現在1,049人です。

### 活動報告

- 4月16日 総務部会議。役員会議（司会：岡安征也、ファックス導入、その他）。
- 4月16日 大宮駅コンコース写真パネル展示作業（海老原、福井、森本、渡辺周司）。
- 4月26日 5月号校正（大武昭雄、西城戸司）。
- 4月29日 春のシギ・チドリ類一斉調査。
- 4月30日 バードソン会議（アズ熊谷にて、出場メンバーなど）。



5月の連休にEさん、Yさん、Kさんとあの舳倉島に行ってきました。夜明けから日没まで探鳥。夜は一杯飲みながら編集会議という鳥三昧の日々を過してきました。ところが二日目の晩、汗とほこりにまみれて宿に戻ってきた我々をまっていたのは、断水の為風呂に入れられないという現実でした。その夜は文字通りの変臭会議となったのであります。

（藤原寛治）

『しらこぼと』1989年6月号（第61号）

定価 100円（会費に含まれます）

発行人 今井昌彦

編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部

☎ 048(832)4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

（本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）